

基調 講演

中世都市史研究 からみた平泉

高橋 慎一郎 氏

(東京大学史料編纂所 教授)

全体日程

9:30～ 受付

10:00～10:10 開会行事

10:20～12:00 基調講演

休憩

13:00～14:40 共同研究に関する報告

休憩

14:50～15:35 調査成果の報告

15:40 閉会

共同研究に関する報告

- ① 13:00～13:20
「柳之御所遺跡の考古学的研究」
岩手県教育委員会・(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
- ② 13:20～13:40
「平泉の彼岸と此岸の造形に係る比較研究」
岡田 健 (奈良大学教授 (国立文化財機構東京文化財研究所名誉研究員))
- ③ 13:40～14:00
「出土文字資料の集成的研究」
三上喜孝 (国立歴史民俗博物館 研究部教授)
- ④ 14:00～14:20
「東・北アジアにおける政治拠点と平泉の比較研究」
岩手大学平泉文化研究センター・岩手県教育委員会
- ⑤ 14:20～14:40
「日本の学校教育における世界遺産の教材化についての研究」
岩手大学教育学部・岩手県教育委員会

調査成果の報告

14:50～15:35
「骨寺村荘園遺跡」

一関市教育委員会

「白鳥館遺跡」

奥州市教育委員会

「観自在王院跡」

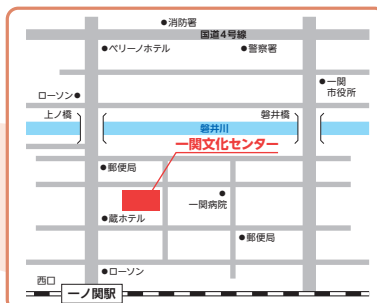
平泉町教育委員会

令和7年 **2月2日(日)** 10:00～15:40

会場／一関文化センター中ホール [〒021-0884 岩手県一関市大手町2-16]

主催／岩手県、岩手県教育委員会、岩手大学、岩手大学平泉文化研究センター、世界遺産平泉保存活用推進実行委員会
共催／一関市教育委員会、奥州市教育委員会、平泉町教育委員会

後援／(公財)岩手県文化振興事業団、(一社)岩手県文化財愛護協会、岩手考古学会、岩手史学会、NHK盛岡放送局、
IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、
毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、一関コミュニティFM (FM あすも)、一関ケーブルネットワーク、
時事通信社盛岡支局、共同通信社盛岡支局、河北新報社、岩手日日新聞社、胆江日日新聞社



第5回 平泉学フォーラム

入場無料

対象：一般
当日受付

■ 問い合わせ先

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課 (柳之御所担当) TEL 019-629-6488
世界遺産平泉保存活用推進実行委員会事務局 Mail : AK0002@pref.iwate.jp (文化振興課)



本事業は令和6年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)の補助を受けて
実施しています。



基調講演

「中世都市史研究からみた平泉」

高橋 慎一郎 氏

【略 歴】

1964年生。東京大学史料編纂所教授。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退。博士（文学）。鎌倉や平泉などの中世都市に詳しく、『ブラタモリ』などにも出演するなど、広く日本中世史の研究を進めている。

研究分野：日本中世史。都市史。

主要著作：『中世の都市と武士』1996年、『武家の古都、鎌倉』2005年、『中世鎌倉のまちづくり』2019年、『幻想の都 鎌倉』2022年、ほか多数。

- 9:30 ～ 受付
10:00 ～ 10:10 開会行事
10:10 ～ 10:20 基調講演講師紹介
10:20 ～ 12:00 基調講演「中世都市史研究からみた平泉」高橋慎一郎 氏（東京大学史料編纂所 教授）
12:00 ～ 13:00 休憩

【共同研究に関する報告】

- 13:00 ～ 13:20 研究報告①『柳之御所遺跡の考古学的研究』
岩手県教育委員会、（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
13:20 ～ 13:40 研究報告②『平泉の彼岸と此岸の造形に係る比較研究』
岡田健 奈良大学教授（国立文化財機構東京文化財研究所名誉研究員）
13:40 ～ 14:00 研究報告③『出土文字資料の集成的研究』
三上喜孝 国立歴史民俗博物館 研究部教授
14:00 ～ 14:20 研究報告④『東・北アジアにおける政治拠点と平泉の比較研究』
岩手大学平泉文化研究センター、岩手県教育委員会
14:20 ～ 14:40 研究報告⑤『日本の学校教育における世界遺産の教材化についての研究』
岩手大学教育学部、岩手県教育委員会
14:40 ～ 14:50 休憩

【調査成果の報告】

- 14:50 ～ 15:35 「骨寺村荘園遺跡」 一関市教育委員会
「白鳥館遺跡」 奥州市教育委員会
「観自在王院跡」 平泉町教育委員会
15:40 閉会